

中井町町地域公共交通計画 概要版

1 計画策定の目的と位置付け

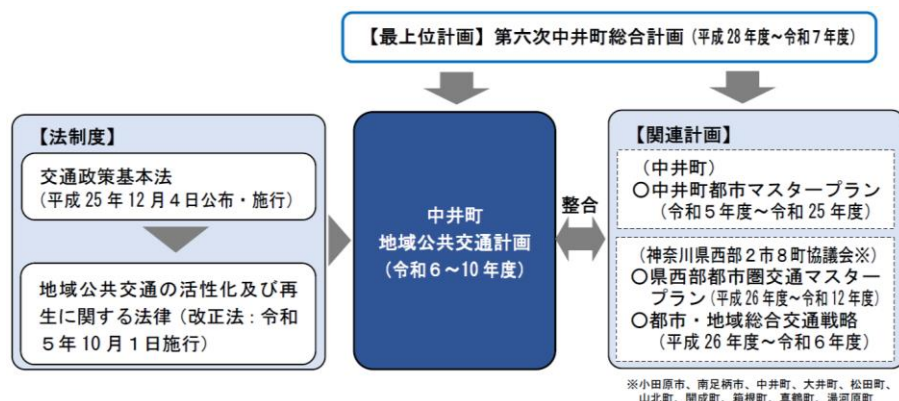
計画策定の目的

少子高齢化や人口減少に加え、コロナ禍における外出自粛などにより、公共交通の利用者は減少し、公共交通を取り巻く環境は悪化している状況となっています。また、高齢者の免許返納に伴う移動手段の確保や、交通事業者の運転手不足による運行便数の維持などが社会問題として顕在化しています。

鉄道駅のない中井町では、路線バス（神奈川中央交通㈱）及び高齢者や交通手段を持たない住民へのサービスとして中井ふれあいバス（中井町オンデマンドバス）が運行していますが、鴨沢・雑色地区における路線バスの廃止や、交通空白地域などにおける小・中学生や交通弱者の足の確保などの課題を抱えています。

本計画は、このような地域公共交通の厳しい現状のなか、課題を解決し持続可能な地域公共交通を再構築するため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正（令和5年10月1日施行）に規定する基本方針に基づき、中井町にとって望ましい地域旅客サービスの姿を明らかにするとともに、有効かつ実現可能なマスタープランとして「中井町地域公共交通計画」を策定することを目的とします。

計画の位置付け



計画区域

本計画の区域は、中井町全域（オンデマンドバスで乗降場所として設定している秦野赤十字病院を含む）。ただし、広域交通圏における連携を強化・充実するため、隣接市町についても検討の対象に含めます。

計画期間

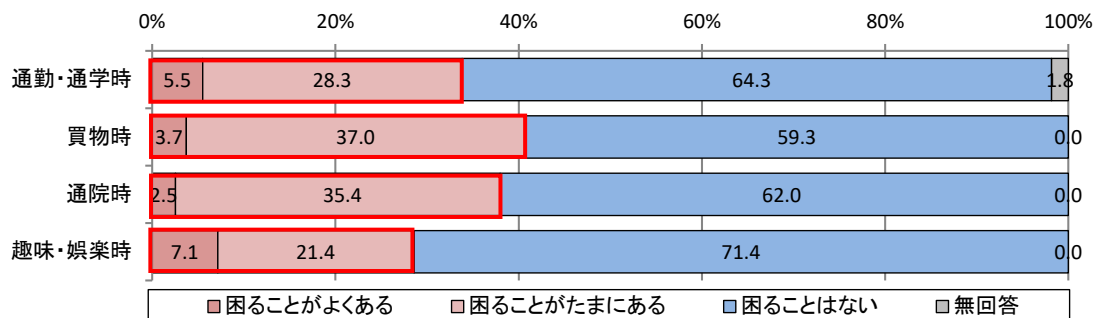
令和6年度から令和10年度まで（5年間）

2 地域公共交通を取り巻く課題整理

①高齢者・障がい者及び児童・生徒など交通弱者への対応

高齢者・障がい者及び児童・生徒などの交通弱者が、通勤・通学、通院、買い物及び趣味・娯楽などといった日常生活及び社会生活に不可欠な移動手段を確保することが必要です。

■外出目的別困り具合（町民アンケート調査）



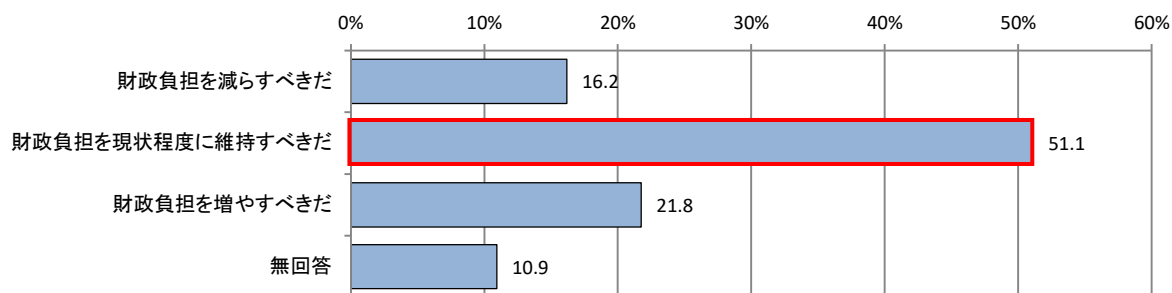
②家族などによる送迎の負担の軽減

若年層や高齢者、自動車運転免許を持っていない方といった交通弱者の移動手段を確保し、家族などによる送迎の負担を軽減する必要があります。

③オンデマンドバスの役割分担の明確化に基づく利便性や効率化の改善

- 利用者層、導入目的（役割分担）の明確化
- 運行日・時間帯及び運行区域など運行サービスの改善
- 乗合率向上や往復利用促進、適正な車両など運用面の改善
- 限られた財政負担の有効活用
- 運行形態、運行システムの検討

■公共交通に対する財政負担の考え方（町民アンケート調査）



④町の骨格を形成する路線バスの維持・確保と利用促進

○路線バスの維持・確保

現状の慢性的な運転手の高齢化や不足に加え、令和6年4月から働き方改革関連法の施行に伴い、減便や運行時間の縮小が懸念される中で、今後も現行のサービス水準を維持できるよう、路線バスの維持・確保が必要です。

○企業・事業所への路線バスの利用促進

エコ通勤などモビリティマネジメントを展開しながら、利用促進を図っていくことが必要です。

⑤公共交通機関同士の接続と広域アクセスの改善

現在運行中の公共交通機関全体の満足度を高めるため、町外（小田急小田原線秦野駅、JR東海道線二宮駅）へ運行中の路線バスとの接続強化を図りながら、町外の鉄道駅などへスムーズな移動が可能となるよう、広域アクセスの改善が必要です。

⑥町民・来訪者に分かりやすい運行情報の提供

町内を運行中の路線バスやオンデマンドバスについて、運行情報の周知・PRや出前講座などきめ細やかな利用促進活動の展開により、分かりやすい情報の提供・充実が必要です。

⑦利用促進に向けた町民意識の醸成

公共交通を今後も維持していくためには、町民の協力や利用促進による新たな利用者の獲得が不可欠であり、公共交通の利用に対するより一層の意識の醸成が必要です。

⑧高い自動車依存度の抑制と地域の輸送資源の維持

高い自動車依存度の抑制を図りつつ、町内で運行中の多様な輸送資源や目的地となる施設（店舗、病院など）との連携といった地域資源の総動員により、持続性の確保が必要です。

3 基本方針と目標

基本理念と基本方針

【地域公共交通の基本理念】

町民の暮らしを支える利用しやすい地域公共交通の構築

*「町民」とは、「住民」「中井町内に通勤又は通学する者」「中井町内に事業所又は事業所を有する個人又は団体」「中井町内において活動する個人又は団体」と定めており、これら全ての「町民」です。



基本方針①：町内を移動しやすい公共交通網の充実

- 公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして運行中のオンデマンドバスについては、更なる利便性向上や持続性を確保するとともに、路線バスやタクシーの利用促進により、町内を移動しやすい公共交通網の充実を図ります。
- 路線バスやオンデマンドバスについては、児童・生徒における通学手段の確保について十分留意しながら、サービスを提供します。
- 地域公共交通以外の輸送資源として、企業送迎バスへの混乗化など効果的な有効活用の可能性を調整・検討するとともに、福祉有償運送の周知・PRを行います。



基本方針②：町外へ移動しやすく、乗り継ぎしやすい公共交通網の構築

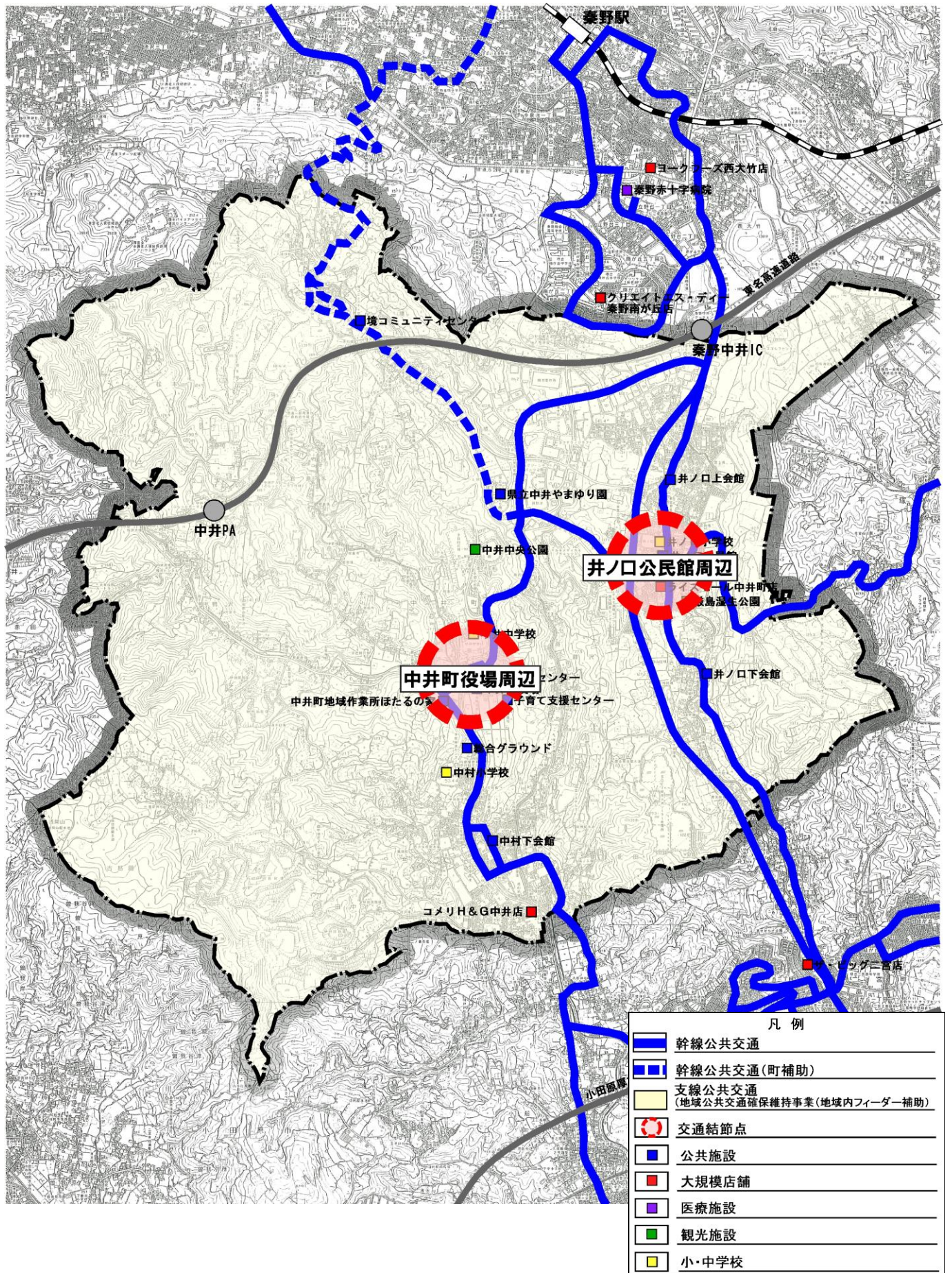
- 鉄道駅（小田急小田原線秦野駅、JR東海道線二宮駅）など町外へのスムーズな移動可能となるよう、路線バスの利便性向上を図りながら、周辺自治体との連携・協力により、町外へ移動しやすい公共交通網を構築します。
- 各公共交通機関同士の乗り継ぎに対する負担軽減や、自動車や自転車など他の交通手段からの乗換え利便性の向上に資するよう、交通結節点での乗継環境を構築します。
- 路線バスについては、企業・事業所への通勤需要の可能性を探りながら、再編を検討し、バス利用者の拡大を図ります。



基本方針③：安心して公共交通を利用できる環境の整備

- 公共交通利用に対する情報発信を行い、町民意識の醸成や、分かりにくさによる不安の解消により、利用促進を図ります。
- 過度な自動車利用から、適度な自動車利用へと無理のない範囲での転換を促し、みんなの参画により公共交通を支え・育て・守る意識を啓発し、「乗って支える」仕組みを構築します。
- 目的地となる施設（店舗、病院など）との連携により、持続性を確保します。

地域公共交通ネットワークの方向性



■各公共交通機関の機能分担

※役割の大きさ…◎：大きい、○：普通、△：小さい

分類	交通機関	位置付け	役割※		主な対象者					
			町外移動	町内移動	児童・生徒	学生(高校生等)	一般町民	高齢者	障害者	来訪者(通勤者)
幹線公共交通	路線バス	秦野市や小田原市、二宮町等周辺都市の各地や、町内各地を結ぶ移動を担う交通	◎	○	●	●	●	●	●	●
支線(フィーダー)公共交通	オンデマンドバス	主に地域内(一部秦野赤十字病院)の移動と交通不便地域の解消を担う交通	△	◎	●		●	●		
個別輸送	タクシー	ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的・柔軟に対応可能な交通	○	○			●	●	●	●
特定利用者等の移動を担う交通	福祉有償運送	一人で移動が困難な方の移動を担う交通	—	—					●	
	民間企業送迎バス	企業等特定の利用者の移動を担う交通	—	—						●

計画の目標

【基本方針】

基本方針1
：町内を移動しやすい公共交通網の充実

基本方針2
：町外へ移動しやすく、乗り継ぎしやすい公共交通網の構築

基本方針3
：安心して公共交通を利用できる環境の整備

【計画の目標】

目標①：町内の移動支援の充実

オンデマンドバスについて利便性向上や持続性を追求しながらサービス改善を図るとともに、路線バスやタクシーといった民間事業者で運行中の公共交通サービスを維持します。
また、民間企業送迎バスの有効活用や福祉有償運送により、町内の移動支援を充実させ、交通弱者の移動手段を確保します。

目標②：町外への移動を支援するアクセス強化

路線バスといった幹線公共交通の利便性向上や交通結節点での乗継環境の向上により、中井町と町外を結ぶ広域交通網を強化します。

目標③：利用しやすい公共交通環境の整備

公共交通利用の分かりにくさによる不安を解消し、分かりやすい運行情報を提供するとともに、高齢者の移動支援の充実と、誰もが安全に移動できる環境を整備します。

目標④：地域全体で支える公共交通の構築

地域資源の総動員により、地域全体で支える持続可能な公共交通網を構築します。

4 目標達成のための実施事業

実施事業

基本方針	目標	事業名	実施主体					実施時期（年度）					
			中井町	神奈川県	交通事業者 バス タクシー	地域	関係団体・企業	近隣市町	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
1 町内を移動しやすい公共交通網の充実	①町内の移動支援の充実	事業1 ：オンデマンドバスの利便性と効率性の向上	○		○				検討	実施			
		事業2 ：タクシーの利用促進	○		○								
2 町外へ移動しやすく、乗り継ぎしやすい公共交通網の構築	②町外への移動を支援するアクセス強化	事業3 ：路線バスの利便性向上及び利用促進	○		○		○	○	検討	利便性向上検討・実施	待合環境の改善実施		
		事業4 ：交通結節点の機能強化	○		○				検討	サイクルバス「ライド」周知PR・拡充	乗継運賃割引等実施		
3 安心して公共交通を利用できる環境の整備	③利用しやすい公共交通環境の整備	事業5 ：公共交通マップの作成・配布	○		○	○			作成	データ更新（随時）			
		事業6 ：利用しやすい車両の導入促進			○	○				更新検討・順次導入			
		事業7 ：MaaSの取組み研究	○		○	○	○			研究・実施			
		事業8 ：運転免許自主返納促進のための支援	○					○		周知・PR	加盟店等推進		
	④地域全体で支える公共交通の構築	事業9 ：公共交通への利用転換の促進	○		○	○	○		検討	実施			
		事業10 ：企業送迎バス等から路線バスへの転換可能性等の検討	○					○		検討			
		事業11 ：企業・事業所向けエコ通勤の推進	○		○			○	検討	広報啓発活動実施	表彰制度実施		
		事業12 ：商業施設等との連携サービスの導入	○		○			○	検討	実施			
		事業13 ：運転手の確保策の実施	○		○	○			検討	実施			

計画目標の達成状況を評価するための評価指標

評価指標	指標の定義	現状値	目標値 (令和10年度)
①オンデマンドバス乗合率、認知度及びサービス満足度	オンデマンドバスの乗合率	32.3% (R04)	35%
	オンデマンドバスの認知度 ※1	90.4% (R04)	95%
	オンデマンドバスの運行サービス満足度※2	51.7% (R04)	55%
②路線バスの運行サービス	朝ピーク時(6~9時台) 運行本数(平日) ※3 ・中井町役場入口 秦野駅方面 二宮駅方面 ・井ノ口小学校前 秦野駅方面 二宮駅方面	3本/時 5本/時 8本/時 4本/時	3本/時 5本/時 8本/時 4本/時
	オフピーク時(10~16時台) 運行本数(平日) ※3 ・中井町役場入口 秦野駅方面 二宮駅方面 ・井ノ口小学校前 秦野駅方面 二宮駅方面	2本/時 3本/時 5本/時 2本/時	2本/時 3本/時 5本/時 2本/時
	夕方ピーク時(17~19時台) 運行本数(平日) ※3 ・中井町役場入口 秦野駅方面 二宮駅方面 ・井ノ口小学校前 秦野駅方面 二宮駅方面	3本/時 3本/時 6本/時 3本/時	3本/時 3本/時 6本/時 3本/時
	路線バス利用者数 ※4	1,572千人/年 (R04)	1,572千人/年
	鉄道駅までの路線バスの利用者割合 ※5	34.6% (R04)	40%
	路線バス利用者割合 ※6	18.5% (R04)	25%
③町民の公共交通の利用割合	タクシー利用者割合(町内+町外) ※6	2.6% (R04)	5.0%
	④公共交通に係る行政負担額及び収支率	オンデマンドバスの(利用者一人当たり) 運行経費 ※7 3,841円 (R04)	3,800円
⑤交通結節点の機能強化	オンデマンドバスの収支率	4.4% (R04)	4.5%
	サイクルアンドバスライドの導入箇所数	4箇所 (R04)	6箇所
	パークアンドバスライドの導入箇所数	—	1箇所
⑥地域との連携による取組み	バス待ち環境実施箇所数	5箇所 (R04)	8箇所
	町内の加盟店舗数(神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート協議会)	0件 (R04)	3件
	エコ通勤表彰制度事業所数	—	2事業所
	商業施設等との連携による導入件数	—	1件
	運転手確保策の実施回数	—	延4回

※1 町民アンケート調査(令和4年11月)で、認知度として「知っていた」と回答した割合

※2 オンデマンドバス登録者アンケート調査(令和4年11月)で、各項目における「満足」+「やや満足」の割合

※3 各ピーク時間帯の中で、最も多い時間帯の運行本数

※4 町内を運行する路線バス全ての利用者数

※5 町民アンケート調査(令和4年11月)で、鉄道駅までの利用交通手段(最も多い+次に多い)で「路線バス」と回答した割合

※6 町民アンケート調査(令和4年11月)で利用頻度として「月に2~3日」以上と回答した割合

※7 運行経費(車両購入費を除く)÷乗車人数

5 計画の達成状況の評価

目標の達成状況や社会情勢の変化に伴う計画の見直し

「中井町地域公共交通計画」の推進に当たり、今後人口減少社会における交通事業者の生産性の向上へ向けた移動の仕組みや自動運転などの先進技術開発など「人の移動」に関する社会情勢を踏まえ、目標の達成状況や利用状況などを評価し、必要に応じて見直し、改善する「PDCAサイクル」の仕組みにより進行管理を実施し目標の達成を目指します。

本計画のPDCAサイクルの実行は、「中井町地域公共交通会議」において実施し、施策に係る関係者（町民、交通事業者、行政など）が施策効果の検証結果を共有します。

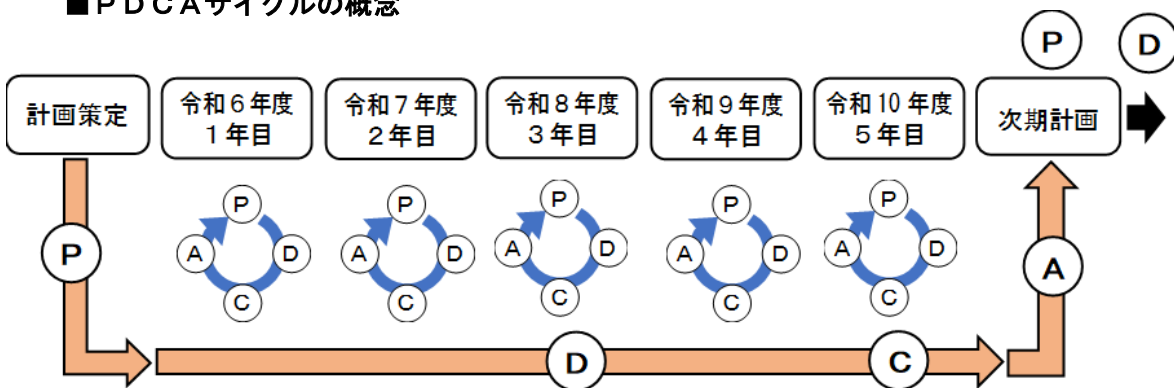
○事業実施状況の評価（年に1回実施）

公共交通への取組や運行状況について、事業の実施状況の評価を毎年度実施します。

○目標達成度の評価（計画期間最終年度に実施）

計画の目標値との比較により、事業の達成状況を検証します。

■PDCAサイクルの概念



評価の方法及びスケジュール

本計画の評価は、最終年度（令和10年度）に事業者から提供された利用実績や各種アンケート調査などから、計画及び公共交通網の評価を実施し、実施事業の見直し及び新たな事業を追加し、次期計画を策定します。公共交通機関の利用状況や本計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施するものとします。

■評価スケジュール

項目		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○	○
	町民アンケート調査					○
	オンデマンドバス登録者アンケート調査					○
事業実施状況の評価		○	○	○	○	○
目標達成度の評価						○
計画・目標値の見直し※						○
中井町地域公共交通会議の開催		○	○	○	○	○

※必要に応じて適宜計画・目標値の見直しを実施

【お問い合わせ先】 中井町企画課 TEL：0465-81-1112 / FAX：0465-81-1443